

サッカー競技規則テスト

下記の設問に答えなさい。

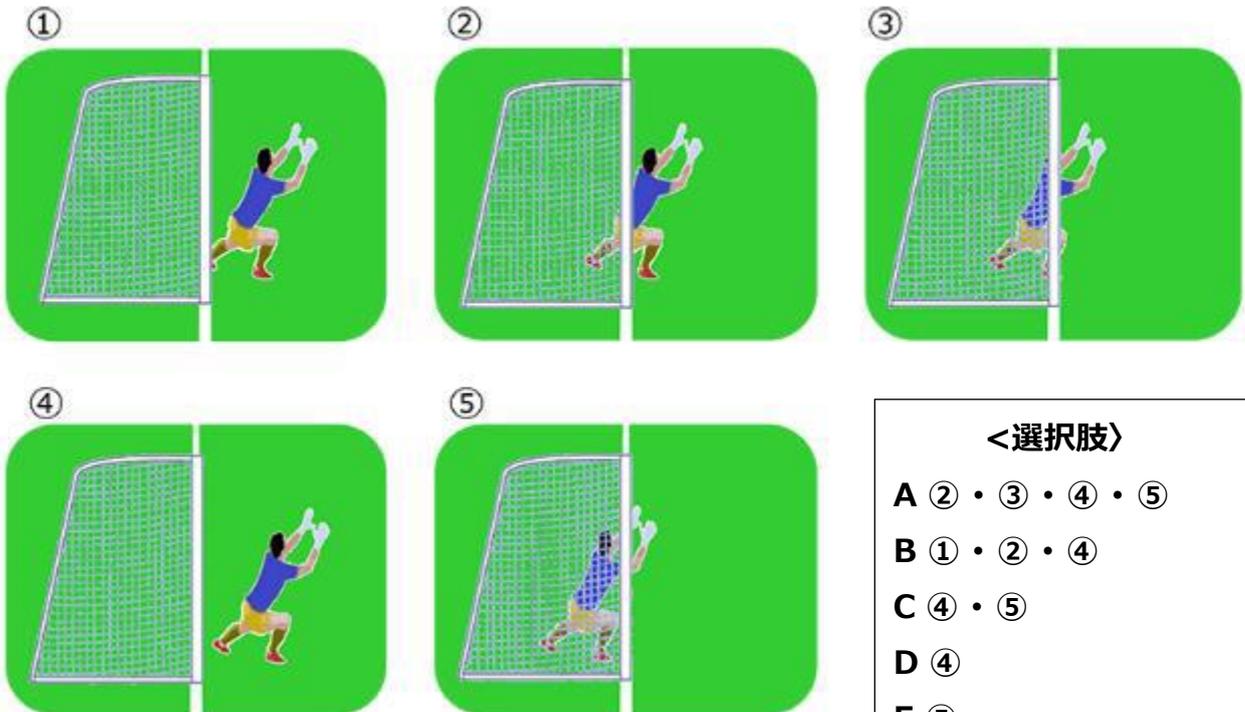
1 競技規則に記載されているサッカー用語について、それぞれ該当する説明文を選択肢の中から選びなさい。

(1)	(2)	(3)	(4)
(相手競技者に) チャージする	著しく不正なプレー	乱暴な行為	タックル

- ① ボールに向かうことで相手競技者の安全を脅かす、または過剰な力や粗暴な行為を伴うタックルやチャレンジすること
- ② 相手競技者に対して身体的にチャレンジすることで、通常は、肩や上腕（身体の近くで）を使って行われる。
- ③ ボールに向かうことで足を用いてチャレンジすること（グラウンド上または空中であっても）。
- ④ ボールに向かうことでチャレンジするのではなく、相手競技者に対して過剰な力を用いる、もしくは用いようとする、または粗暴な行為をする、もしくは粗暴な行為をしようとする、または競技者が微小ではない力を用いて誰かの頭や顔を意図的に殴る行動
- ⑤ 相手競技者にとって危険になる、または結果的にそうなることを軽視（無視）した競技者による行動（通常はタックルやチャレンジ）
- ⑥ 競技者がボールに触れる行動

2 ペナルティーキックについて、主審のとりべき処置等について、選択肢から選びなさい。

(1) ペナルティーキックでボールがけられるとき、守備側ゴールキーパーの足の位置で正しくないものはどれか。



<選択肢>

A ②・③・④・⑤

B ①・②・④

C ④・⑤

D ④

E ⑤

(2) ペナルティーキックに関して、正しくないものはどれか。(ただし、すべて正しい場合は⑤を選ぶこと)

- ① ペナルティーキックが後方にけられたので、ペナルティーキックをやり直した。
- ② 一度助走を完了した後、ボールをけるためにフェイントをしたので、キッカーに警告をし、ペナルティーキックを再び行った。
- ③ ボールがインプレーになる前に GK 以外の守備側競技者がペナルティーエリア内に侵入した。ボールはゴールに入ったのでペナルティーキックを再び行った。
- ④ ゴールキーパーは、キッカーがボールをける前に両足とも早く前に飛び出してしまいペナルティーキックをセーブするという反則を犯したので、ペナルティーキックを再び行うことになった。その試合においてゴールキーパーは、最初の反則であったため主審はゴールキーパーを反スポーツ的行為により警告（イエローカード）を与えた。
- ⑤ ①～④は、すべて正しい。

3 警告となる反則 6 つを下記の選択肢（①～⑬）の中からそれぞれ選びなさい

4 退場となる反則 7 つを下記の選択肢（①～⑬）の中からそれぞれ選びなさい

- ① プレーの再開を遅らせる
- ② 言葉または行動により異議を示す
- ③ 乱暴な行為を行う
- ④ 同じ試合の中で 2 つ目の警告を受ける
- ⑤ ハンドの反則を行い、相手チームの得点または決定的な得点の機会を阻止する（自分の PA 内で GK が手や腕でボールに触れた場合を除く）
- ⑥ 主審の承認を得ず、競技のフィールドに入る、復帰する、または、意図的に競技のフィールドから離れる。
- ⑦ 繰り返し反則する
- ⑧ ドロップボール、コーナーキック、フリーキック、またはスローインでプレーが再開されるときに規定の距離を守らない。
- ⑨ 人をかむ、または人につばを吐く
- ⑩ 反スポーツ的行為を行う
- ⑪ フリーキックで罰せられる反則を行い、全体的にその反則を行った競技者のゴールに向かって動いている相手競技者の得点または決定的な得点の機会を阻止する。
- ⑫ 攻撃的な、侮辱的な、もしくは下品な発言をする、または行動をする
- ⑬ 著しく不正なプレーを行う

5 「決定的な得点の機会の阻止」(DOGSO)を監視する上で、考慮すべき要件 4 つ述べよ

6 ゲーム中に次のような事象が起きたとき、主審のとりべき処置を述べよ

- (1) シュートに対して、守備側競技者が手や腕で体を不自然に大きくして、手でボールに触れた。そのボールをオフサイドポジションにいた攻撃側競技者が受けたが、決定的な得点の機会であった。主審のとりべき処置は？
- (2) 主審は負傷者の対応のために、ボールがペナルティーエリア外にあるときにプレーを停止したが、ボールを最後に触れたのはペナルティーエリア内にいた攻撃側競技者だった。主審のとりべき処置は？
- (3) 守備側競技者が自チームのゴールキーパーに向かって意図的にパスをした。しかし、そのボールがゴールに入りそうになった為、ゴールキーパーは他の競技者が触れる前に、慌ててそのボールに手で触れた。主審のとりべき処置は？
- (4) 前半のアディショナルタイムを3分で表示。アディショナルタイム1分（ランニングタイム46分）を経過したところで負傷者が発生。治療、負傷者の搬出が完了してプレーを再開したのがランニングタイム49分でした。前半終了の笛を吹かなければならないランニングタイムの時間は、何分ですか？（ランニングタイム）
- (5) ボールがインプレー中、競技者Aが主審の承認なく競技のフィールドを離れ、交代して退いた相手チームの競技者につばを吐いた。主審はすぐにプレーを停止し、競技者Aに退場を命じた。その後の主審のとりべき処置は？
- (6) キックオフの進め方について、正しいものを選びなさい。
 - ① 主審がコインをトスし、トスに勝ったチームが、前半にどちらのゴールを攻めるのかを決める。
 - ② キックオフを行う競技者を含めて、すべての競技者は、競技のフィールドの自分たちのハーフ内にいなければならない。
 - ③ キックオフをするチームの相手競技者は、ボールがインプレーになるまで少なくとも9.15m(10ヤード)ボールから離れなければならない。
 - ④ ボールは、けられて明らかに前方に動いたときのみインプレーとなる。
 - ⑤ キックオフから相手競技者のゴールに入った場合、相手競技者にゴールキックが与えられる。
- (7) 主審のとりべき処置として正しくないものはどれか。（ただし、すべて正しい場合は⑤を選ぶこと）
 - ① 守備側競技者がペナルティーエリアの外で攻撃側競技者を押さえ、そのままペナルティーエリア内でも押さえていた。主審はペナルティーキックを与えた。
 - ② ゴールキーパーが手とグラウンドの間にあるボールをコントロールしているときに、攻撃側競技者がそのボールにチャレンジした。主審は守備側チームに間接フリーキックを与えた。
 - ③ 主審は、競技者が相手競技者の決定的な得点の機会を阻止したとしてペナルティーキックを与えた。その反則はボールをプレーしようと試みて行われた反則であったため、主審はその競技者に警告を与えた。
 - ④ 交代時、交代によって退く競技者が競技のフィールドの外に出た後、交代要員が競技のフィールドに入ることなくスローインを行おうとした。主審はその交代要員を一度競技のフィールドに入れ、その後スローインを行わせてプレーを再開させた。
 - ⑤ ①～④は、すべて正しい。

(8) オフサイドポジションに関する下記の記述で、正しくないものはどれか。

- ① ハーフウェーラインは中央で2分してオフサイドの判断が行われる。
- ② オフサイドの反則を判断するにあたり、腕の上限は、脇の下の最も奥の位置までとしている。
- ③ 競技者が最後方にいる2人の相手競技者と同じレベルにいる場合、オフサイドポジションにいないことになる。
- ④ 競技者の腕や手はオフサイドの判断に含まれないが、これはゴールキーパーも含まれている。
- ⑤ プレーの流れの中で偶発的に競技のフィールドから出た場合であってもオフサイドの判断には含まれる。

(9) 攻撃側競技者とGKとの1対1の状況。GKは、ペナルティーエリアの外で攻撃側競技者をつまずかせてしまい、攻撃側競技者の決定的な得点の機会を阻止した。※GKは、ボールをプレーしようとした結果、攻撃側競技者をつまずかせてしまった。このときの主審の取るべき処置は？

(10) ロングスローインが行われた。投げられたボールが他の競技者の誰にも触れられず、直接、相手チームのゴールに入ってしまった。主審の取るべき処置は？

(11) 攻撃側競技者の腕に偶発的にボールが触れた直後にその攻撃側競技者が足で得点した。このときの主審の取るべき処置は？

(12) 攻撃側競技者の腕に偶発的にボールが触れた直後にその攻撃側競技者が足でシュートした。シュートしたボールがゴールキーパーにセーブされ、セーブされたボールは、ゴールの枠を逸れてゴールラインを越えた。このときの主審の取るべき処置は？

(13) 守備側競技者が自陣のペナルティーエリアのライン上で相手競技者を不用意につまずかせた（ファウルを犯した）。このときの主審の取るべき処置は？

(14) 下記の中で競技者がボールを直接受けたときにオフサイドの反則にならないものを選びなさい。

- ① 直接フリーキック
- ② ゴールキック
- ③ コーナーキック
- ④ スローイン

(15) 間接フリーキックでけられたボールが直接、相手ゴールに入った。主審の取るべき処置は？

(16) 間接フリーキックであることを示すシグナルを主審が怠った。ボールがけられて直接ゴールに入った。主審のとるべき処置は？

(17) PK 戦中に主審に異議を唱えたため、警告（イエローカード）を受けた。その選手は、試合中にイエローカードを1枚受けていた。この場合の対応は？

(18) 試合中のPKの場面。PKキッカーがけたボールが直接、ゴールポストにあたり、PKキッカーのところへ跳ね返ってきた。PKキッカーは、跳ね返ってきたボールを足でプレーし、得点を決めた。主審のとるべき処置は？

(19) 試合中のPKの場面。PKキッカーがヒールキックで前方に少しボールをけた。その後、ボールがけられた後にペナルティエリア内に侵入した他の味方競技者がボールをプレーし、得点を決めた。主審のとるべき処置は？

(20) キックオフから直接、ゴールを狙った。ボールは、相手ゴールに入ってしまった。主審の対応？